

Ⅱ 拠点館事業

平成 26 年度 市直営事業実績

1 生涯学習事業研究

生涯学習事業の現代的課題について、具体の先進的事業の事例研究として「調査」・「研究」・「分析評価」・「成果の活用」等を実施する。

(1) 若者社会参画型学習推進事業

地域課題の解決や復興まちづくりの担い手である若者の「自分づくり」を社会教育的なアプローチを生かして支援すると共に、若者の学びの成果を生かした地域づくり活動等への参画を促進することにより、さまざまな人々と協働しながら身近な地域をより良くすることへの関心を高め、社会・地域の一員として自発的・主体的に行動できる人づくりを推進する。

なお、平成 22 年度から 24 年度は「若者によるまちづくり実践塾」という事業名で各区中央市民センターにおいて実施した。平成 25 年度からは、事業名を変更して新たに各区中央市民センターで実施している。

① 若者によるまちづくり実践塾

＜青葉区中央市民センター＞

(受講生：5 名 大学生 企画講座・区民まつりへの参加者：220 人 大学生，地域住民)

地域と若者をつなぐことを目的として、ミーティングを重ね、フリーペーパー『SANPO』の第 2 号を発行した。また、紙媒体での間接的な関わりだけでなく、地域で直接的な活動をしたいの思いと若者団体どうしのつながりを強めたいという思いから、太白区の若者団体『IMAYO!!』と青葉区民まつりにパズルのブースを出した。また、青葉区中央市民センターまつりにもボランティアスタッフとして参加した。

② まいぷろ・Miyagino for Young PROgram

＜宮城野区市民センター＞ (受講生：36 名 大学生，社会人)

宮城野区は平成 25 年度まで「EAST プロジェクト」として本事業を進めてきたが、平成 26 年度より「まいぷろ・Miyagino for Young PROgram」と改め、若者たちが既に「まちづくり」に関わって活動中の人たちと語り合い、ボランティアや地域・市民活動の基本を学ぶ機会を創った。また事業全般にわたり、仙台市市民活動サポートセンターと連携した。

全 8 回の講座で、前半は座学をゼミ形式で行い、5, 6 回目は実習、7, 8 回はワークショップや発表会の形式で行った。講座が進むにつれ、「活動に参加していく自分づくりのサポート」「自己開示」を重視して事業を進めた。学生たちの事後の感想から「できることから」「できる範囲で」活動したい、「つながりを大切にしたい」「地域活動のハードルが低くなった」という感想が寄せられ、よい学びの場となった。

③ 仙白園プロジェクト・人

＜若林区中央市民センター＞（受講生：32名 大学生，専門学校生，地域住民他）

講座名は若林区中央市民センターが養種園（実験農場の役割を担い，仙台白菜を誕生させた）跡地に立地していることに由来。平成26年度は「ボランティア班」「情報収集班」「イベント班」の3つのプロジェクトで活動を展開した。各プロジェクトの主な活動内容としては「ボランティア班」は荒浜地区，六郷東部地区のイベント支援を行った。また，「情報収集班」では地域情報を収集するためにまち歩きを行い，地図にまとめた。さらに，「イベント班」は畑での収穫物を活用し，夏には「親子クッキング教室」，冬には南小泉地区町内連合会の協力を得て，「ボランティア班」「情報収集班」の活動も広報しつつ地域の皆さんと交流する機会として「冬の収穫祭」を開催し，交流の輪を広げた。

④ 仙台学生サークルネットワーク事業「つながりんぐ」

＜太白区中央市民センター＞（参加者：11団体）

地域や地区市民センターから「学生と連絡を取りたいがどうしたらいいかわからない」，また，学生からは「社会貢献したいが窓口がわからない」等の意見をうけて，本事業を新規で立ち上げ，名称を「つながりんぐ」としてスタートした。若者の社会参画をねらいとした活動の受け皿となるネットワークを構築するために，在仙のボランティア活動を行うサークルの新入生歓迎会で直接交渉をしたり，大学でPR活動を行ったりした。その結果，11団体の学生サークルが集まった。そして今年度は，各サークルの交流会を企画し，情報誌を作成した。完成した情報誌は仙台市内の小中学校や地区市民センター，町内会，NPO法人，地元企業等に配布した。

成果としては，交流会を通して各サークルが互いの活動を知ることになり，より親密な交流を生み出すことができたこと，活動の受け皿となるネットワークが構築されたこと，情報誌の作成により学生の活動を広く発信できたこと，そして地域への関心が高まったことがあげられる。今後の課題は，各サークルの持ち味を生かした活動を行うために，若者の社会参画をねらいとした行事を企画し，実行していくことである。

⑤ ICP Izumi Community Project

＜泉区中央市民センター＞（受講生：43名 延べ参加者 325名）

泉区内に通学している大学生を中心とした受講生が，ネットワークを広げながら地域創造について考える企画講座である。受講生が持つ泉区のイメージなどを整理し，自分たちが取り組んでみたいことについて話し合い，自主企画を考えた。昨年度に引き続き，泉区中央市民センター主催「親子で大学たんけん」の東北学院大学泉キャンパス見学をプロデュースした。ベガルタ仙台・市民後援会との共催で「ベガッ太くん縁日」を実施したことをきっかけに，区内小学生親子100名を対象とした「ユアスタでクイズスタンプラリー」を企画，実施した。さらに，受講者自身が泉区について知り，まちづくり企画に生かすための研修の場として，「根白石探検ツアー」や「泉ヶ岳雪遊びツアー」などを実施した。他にもさまざまな地域活動に参加したり，成人式「交流の広場」や「泉5大学まちづくりフェスティバル」で活動報告をしたりするなど，昨年度以上に活動の幅を広げ，学びを深

めることができたことに加え、泉区やまちづくりへの関心をさらに高めることができた。

⑥「若者社会参画型学習推進事業」にかかる支援及び成果報告会

＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の参加者や担当者を対象に、情報交換会や成果発表会を実施し、各区中央市民センターの事業内容の再確認・見直しの機会を提供すると共に、受講者の参加意識の向上を図った。併せて、市民センターにおける本事業の普及・推進を図るために区中央市民センターが実践している本事業の成果と課題から、重要なエッセンス及びノウハウを抽出して地区市民センターにフィードバックすること、及び区中央市民センターの事業が円滑に進むように後方支援を行った。

(ア)啓発事業（参加者：各区中央市民センター若者事業担当者）

大学において各区中央市民センターの事業担当者から学生に対して、若者参画型の事業企画、実施内容のPRを行った。若者参画型事業に対する学生の率直な意見を聴く機会にもなった。

平成 26 年 5 月 27 日(火) 宮城教育大学教育学部「社会教育論」の時間にて実施

平成 26 年 5 月 29 日(木) 東北学院大学教養学部人間科学科専門科目「生涯学習論」の時間にて実施

(イ)先進地視察（H27.3.11 参加者：事業参加者 13 名、各区中央市民センター事業担当者 4 名）

若者を生かしたまちづくりや地域活性化に取り組んでいる団体の活動の視察及び情報交換を通して、各区中央市民センターで開催している本事業の参加者及び担当者の視野をより広げるとともに、今後の本事業の活性化につなげることをねらいとして実施した。参加した受講者からは、「同じ学生が行っているが、イベントの企画の目的がはっきりとしている」、「刺激になった」など、今後の活動の参考になった等の感想が多く寄せられた。

【視察場所】 Café Avain（大崎市古川幸町 1 丁目 1-5）

【視察団体】 特定非営利活動法人 Avain（アバイン）

(ウ)成果報告会（H27.2.14 参加者：事業参加者 22 名 社会教育施設等職員等 38 名）

各区中央市民センターの事業担当者、若者事業参加者が平成 26 年度の取組や成果と課題について発表し、コーディネーターや助言者からアドバイスをいただき、次年度事業に向けてのブラッシュアップを図った。

【コーディネーター】水谷 修 氏（東北学院大学教授）

【助言者】齋藤 純子 氏（特定非営利活動法人 せんだい杜の子ども劇場代表理事
仙台市公民館運営審議会委員）

澤村 隆太 氏（一般社団法人 D.P.I 代表理事）

※所属、役職は開催時点

(2) 住民参画・問題解決型学習推進事業

地域特性に応じた市民協働による地域づくりを推進するため、住民と市民センター職員

が協働して地域課題を発見し解決につながる活動を実践することにより、そこでのさまざまな学びのプロセスを通して地域づくりを担う人材を発掘・育成することを目的に、平成23年度から各区中央市民センターで事業を実施している。

① 地域元気クラブ

＜青葉区中央市民センター＞

（受講生：10名 参加者：多世代にわたる地域内外住民、学校教員他 約300名）

受講生（元気アップ柏木実行委員会：GAK）が講座での学びを生かして、地域の資源や人材を活用し、地域を元気にする企画を次々と実践していくことで、地域活性化のためのノウハウや地域づくりに必要なネットワークを学んだ。企画する事業での参加者や連携先が増えたり、学校をはじめとする地域の諸団体から活動依頼が増えたりするなど地域との顔の見える関係が築かれつつある。（企画・実施した事業…渋柿プロジェクト、てらまちフェスタ、まち歩き、地域学習研修会、他団体との交流会研修会等）

② 地域の絆 再生プロジェクト

＜宮城野区中央市民センター＞（受講生：420名）

東部市民センターと連携しながら、地域の住民がこれまで以上に地域づくりに関心を持ち、地域課題や地域の将来像を共有できるようにするためのワークショップやフィールドワークを行う講座を行った。

今年度の成果として「地域の歴史・再考」講座では「地元学再考～伝えたい東仙台」を刊行し、関係者に配付した。「地域ブランド」は地元商店街や「食」に関するサークルから協力を得て「東仙台牛タン」の創作や「案内の名物湯豆腐」の再現に取り組み、試食会や披露会を催すことができた。どちらの活動も新聞やテレビに取り上げられたこともあり、地域の中での認知度が上がり、受講者のモチベーションもより高まった。

③ わたしのふるさとプロジェクト

＜若林区中央市民センター＞（受講生：18名 六郷地域住民の方他）

震災による津波で大きな被害を受けた六郷の沿岸地域の状況を踏まえて企画した事業。六郷東部地区は移転された方も多く、震災前と比べて人口が大きく減少している。一方、地域に残った方、戻った方はもとより、移転された方の間でも地域への愛着は強い。このような地域課題を踏まえ、平成26年度は六郷東部地区のコミュニティやにぎわい再生に向けて、「わたしのふるさとプロジェクト」を立ち上げ、六郷東部地区住民の交流会開催を目標に地域住民（移転された方を含む）の話し合いを月1回程度行った。1月には六郷市民センターを会場に六郷東部地区交流会「来てけさいん♪おもちと太鼓で思い出ばなし」を実施した。

また、関連した取り組みとして、被災地域の現状を広く市民に知ってもらうためのスタディーツアーを、本事業参加者の協力を得て実施した。

④ たいはく子育て支援ネットワーク事業

＜太白区中央市民センター＞（事業全体の延べ参加者：208名 子育て支援者，施設等）

従来の子育て支援ネットワークを生かし，子育て世代への支援と子育て支援者へのサポートの2点を柱として事業展開した。子育て支援者へのサポートとして年5回の情報交換会や研修会を行った。日々の支援活動につながる研修内容が好評を得ており，参加者が学びを生かせる支援となった。子育て支援者と子育て世代がつながる場である“太白区初めてママのウェルカムパーティー”（88名）は，参加した子育て世代が，各地域の支援施設に足を向けるきっかけとなった。子育て世代への支援として，地区市民センター（3館）と共催講座（4講座）を実施し（全講座延べ受講者数912名），地域のニーズにあわせてネットワーク内から人材やスキルの提供を行った。受講者が学びを披露する場を設けた結果，受講者による地域支援力の循環が生まれている。「子育て」をキーワードに地域ごとの新たなネットワークが構築され，地域づくりを担う人材育成のきっかけとなった。

⑤ 地域共生カンパニー「支え合いのまちづくり」

＜泉区中央市民センター＞（延べ参加者：717名）

泉区中央市民センターと2つの地区市民センターが連携し，「風作り」「風揚げ」，「居場所カフェ」というツールを用いて，まち興し・地域活性化を図る。地域住民が主体となってそれぞれの地域課題を共有しながら，その課題解決に向けて取り組むことにより，住民同士顔の見える関係づくりや地域活性化につなげていくことを目指した事業である。

【将監市民センター】

みんなの居場所～コミュニティ・カフェを作ろう（延参加者：218名）

将監地区では，少子高齢化が急速に進み住民同士の結びつきが薄れてきている中，地域空洞化に伴う高齢者の孤立や買物弱者等への懸念が高まっている。こうした問題解決の一助として，地域の人々が互いに支え合い共に生きること目指し，子どもから高齢者まで地域住民が自由に立ち寄り交流できる居場所を作る試みを実施した。

- ・平成26年10月4日（土） 「みんなのカフェ」（80名参加）
- ・平成26年11月29日（土） 「おしゃべりサロン」（35名参加）
- ・平成27年2月21日（土） 「ほっと交流カフェ」（30名参加）

【根白石市民センター】

泉区西部のまち興し～かむりの里 風揚げフェスタ～（延参加者：499名）

根白石をはじめとする泉区西部地区は，少子高齢化や若者人口の流出等による地域の空洞化が懸念されている一方で，伝統ある地域団体や地域資源も豊富である。

「風揚げ大会」を地域おこしのツールとして活用すべく，地域の団体等による企画会議を立ち上げ，地域の学校や児童館，町内会，商店街などの協力を得て準備を進め，行事への盛り上がり地域コミュニティの活性化に取り組んだ。

- ・平成26年10月15日～12月3日（全13回） 子ども風作り教室（162名参加）
- ・平成26年12月6日 かむりの里 風揚げフェスタ（260名参加）

⑥「住民参画・問題解決型学習推進事業」にかかる支援及び成果報告会

＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している本事業の参加者や担当者，地区市民センター職員を対象に，研修会や報告会等を実施することを通して各区中央市民センターの事業推進を支援した。

（ア）仙台市市民センター市民参画型事業に関する研修（H26.6.12 参加者：38名）

仙台市市民センターが重点的に取り組む参画型事業の普及・啓発を図るため，「市民センターを拠点とした新しいまちづくりの提案—仙台プラン—」について，インタビュー形式での講話とワークショップを取り入れた研修会を実施した。

【講師】水谷 修 氏 （東北学院大学教授）

新田 新一郎 氏 （（有）プランニング開代表）

（イ）地域資源学習会の実施

《「愛子こどもの森」の視察（H26.11.23 参加者：6名）》

地域・PTA・学校が地権者と話し合いながら，“子どもたちのために”ということを中心に条件に借りた校舎に隣接する場所である「愛子こどもの森」を整備し，親子体験活動等を主催する「愛子ハグリッズ」の事業を視察した。

【講師】千田 初男 氏 （愛子ハグリッズ運営委員長）

《「なかやまスノーマンまつり」の視察（H26.12.20 参加者：9名）》

子どもから大人まで地域住民が一緒になって地域を盛り上げているイベントである「なかやまスノーマンまつり」について，中山商店街の方に概要を説明してもらい，商店街を視察した。

【講師】千葉 裕貴 氏 （ビューティサロン「フレンド」代表取締役）

（ウ）成果報告会（H27.2.7 参加者：事業参加者14名 社会教育施設職員等53名）

各区中央市民センター事業担当者及び事業参加者，市民センター職員，関係課職員，市民を対象に，各区事業の報告並びに成果と課題等について総括する成果報告会を開催した。事業報告はすべての区が事業参加者と一緒に行い，内容について助言者から助言をいただいた。成果と課題等の総括については，コーディネーターが助言者に聞き取る形で実施した。成果報告会は，事例発表研究研修として職員研修に位置付けた。

【コーディネーター】水谷 修 氏 （東北学院大学教授）

【助言者】 齊藤 康則 氏 （東北学院大学准教授・仙台市公民館運営審議会委員）

遠藤 智栄 氏 （地域社会デザイン・ラボ代表）

（3）子ども参画型社会創造支援事業

子どもたち（小学校中・高学年，中高生）が，積極的に地域の中で役割を持ったり，社会の構成員としてまちづくりに参加したりすることで，自分たちの地域の課題に気づき，社会・地域の一員として行動する視点を持つことにより，将来的に社会や地域で主体的に活躍できる人づくりをすることを目的として，平成23年度から各区中央市民センターで

事業を実施している。

① Sendai Aoba Teens Club

＜青葉区中央市民センター＞（参加者：14名 中・高校生）

中高生によるサークル Sendai Aoba Teens Club の一環として「SATC 情報部ふおるていお」による地下鉄東西線や仙台大観音を題材とした取材や撮影等の番組づくりの活動を行った。制作した番組は、青葉区内の小中学校に DVD として配布したほか、CAT-V において平成 26 年 9 月と平成 27 年 4 月に 1 ヶ月間放送し、以降はネット TV にて視聴できるようにしている。

② 子ども商工会 2014 ～わたしたちと地域をつなぐ原町キッズもりあげ隊～

＜宮城野区中央市民センター＞（受講生：44名 小学生，中学生）

地域の子どもたちが区中央市民センターに自分たちの活動拠点を設け、自身が行う情報収集、情報発信の活動によって地域とつながり、社会に参画していくきっかけづくりに取り組んだ。

具体的には夏まつりや市民センターまつりに参加したり、商店街のウインドーにポスターや新聞を掲示したりする「地域を盛り上げる」活動を行った。徐々に名前と活動を覚えてもらいながら、周囲に活動を認めてもらっていく中で、自分たちの活動が地域の活性化につながっていくと実感できた。また、区中央市民センター内の活動内容を紹介した掲示に足を留め、今までの活動の紹介をゆっくりと眺めていく方も多く、認知度は上がってきている。

③ 子どもボランティア事業 チャイルドボランティア「チャボ！」

＜若林区中央市民センター＞（受講生：36名 小学生，中学生）

誰かの役に立つことで社会・地域の一員として自分の存在の大切さを体感することができるよう、子どもたちにボランティア活動の機会をつくる事業。対象は当センター近隣の小学 4 年生～中学生で、平成 27 年 3 月現在 36 名が登録している。地域の団体や施設などの協力を得て、一年を通して月 1、2 回活動しており、平成 26 年度は、地域清掃、児童館等の行事の手伝い、被災した農地にヒマワリを植える手伝い、高齢の方に届ける宅配弁当に添える手紙書きなど 28 回の活動を行った。

④ エフエムたいはくキッズ情報局

＜太白区中央市民センター＞（参加者：38名 区内の小学 5・6 年生）

4 つの地区市民センターと 1 つの小学校と共催で、それぞれの地域の良さをエフエムたいはくのラジオで発信するという事業。全体会は 7 回の講座、その他に地区ごとに各 4 回程度活動した。エフエムたいはくのキッズアナウンサーとして、また、地域のキッズリーダーとして、市民センターや学校を拠点に活動。活動したことは FM 放送で発信した。

地区市民センターを拠点に活動することにより、地域のさまざまな方と交流することができた。また、番組作りを通して、自分たちの地域を学習したり、地域の良さを再発見し

たりすることができ、地元意識・地域愛につながった。さらに、他の地域との交流を実施することで、自分たちの地域の良さをもっと調べて発信したいという意欲につながった。ジュニアリーダーと一緒に地域の行事に参加することにより、ジュニアリーダーの頼もしさを感じることができ、ジュニアリーダーを知ってもらえる機会となった。

⑤ アートフルいずみゆめ工房

＜泉区中央市民センター＞（受講生：10名 区内中高生）

中高生を対象に自分の得意分野を生かして地域活動に参加し、地域にかかわる意欲を高めることを目的とした事業である。美術専攻学科のある東北生活文化大学の協力を得て、アートに興味関心のある中高生を対象としたアート体験や、大学生とのワークショップを行い、市民センターまつりや市民センター事業において企画実施を目指すものである。

東北生活文化大版画ゼミナールの学生によるアート体験では、シルクスクリーンと消しゴムはんこ制作を体験し、アートが身の回りを豊かにすることを実感することができた。市民センターまつりでは消しゴムはんこワークショップを開き、小さい子どもから大人まで多くの方が参加した。市民センター全館を使用するイベント「あそびの天国」ではお化け屋敷を企画・制作し、多くの子どもたちを楽しませることができた。

⑥ 「子ども参画型社会創造支援事業」にかかる支援及び成果報告会

＜生涯学習支援センター＞

各区中央市民センターで実施している当該事業の参加者や担当者を対象に、報告会や情報交換会等を実施することを通して各区の事業推進を支援する。平成26年度は、コーディネーターや助言者から各区事業の成果と課題についてアドバイスをいただき、事業のブラッシュアップを図った。

(ア)リーフレットの発行

地区市民センター及び仙台市内の小中学校に向けて、子ども参画型社会創造支援事業の啓発のために発行した。1,500部作成し、地区市民センター職員と市内小中学校、高等学校、中等教育学校に配布した。

(イ)成果報告会 (H27.1.17 参加者：事業参加者 34 名 社会教育施設等職員等 80 名)

助言者による^{ていだん}鼎談において、「参加と参画の違いから考える子どもを対象とした事業の今後」と題し、参画の良さやポイント、課題、本事業の今後の展望について協議することで、主に地区市民センター職員に対して本事業の普及・啓発を図る内容とした。

《主な内容》

- ・事業参加者である子どもたちの発表 (5 区)
- ・事業担当者の発表 (5 区)
- ・助言者による鼎談

【コーディネーター】新田 新一郎 氏 ((有) プランニング開代表)

【助言者】丹治 重廣 氏 (仙台市立将監小学校 校長・仙台市公民館運営審議会 委員)

高橋 悦子 氏 (特定非営利活動法人 冒険あそび場—せんだい・みやぎネットワーク 副代表理事)



(4) 学習成果社会還元事例研究

◎事業例 まなびごっこ

＜若林区中央市民センター＞ (161 回実施 延参加者：3,578 名)

若林区内で活動する生涯学習指導者ボランティアグループ「まなびごっこ」がこれまでに培った知識や技術を生かして、当センターと共催で誰でも参加しやすい内容の講座・教室 (男の料理教室, 女性のための囲碁教室, 映画上映会など 13 種類) を開催した。

(5) その他の生涯学習研究事業

◎事業例 泉区の社会教育を考える会

＜泉区中央市民センター＞ (6 回実施 延参加者：79 名)

区内の社会教育について、区内嘱託社会教育主事や子どもに関わる関係機関の方々と考える機会を持ち、泉区の社会教育事業について活性化を図った。

2 広域規模の学習支援

全市・区規模の学習支援，場合によっては複数の区の連携による取り組みを推進する。市政各般の領域に係る施策，市民の課題ニーズを考慮するとともに，地域に濃淡なく生涯学習が行われるよう学習プログラムをつくり，実施する。

(1) 仙台明治青年大学

<生涯学習支援センター>

地区市民センターの老壮大学やシルバーセンターのせんだい豊齢学園を修了した高齢者（61歳以上の仙台市在住者）が学習をさらに深め，豊かな社会生活を営めるよう，学習意欲の向上が図れるような学習会や大学祭などを開催した。本科生として6年間，その後研究生として引き続き籍を置くことができる。平成26年度は新入生103名が入学し，在籍者数は801名となった。

【主な活動】

活 動	活動内容	実施回数	延参加者
学習会	○学習会（18回） 太白区文化センター楽楽楽ホールを会場に開催。1回あたりの平均出席者数は557名であった。文化芸能，環境，健康，震災などをテーマに，外部講師を招聘し実施した。 ○対話集会（2回） 「明青大50周年に向けて」をテーマに，学生間で意見交換を行った。 ○大学祭（3回） 楽楽楽ホール，生涯学習支援センターを会場に実施。サークル団体の活動発表の場となっている。 ○式典（2回） ・入学・開講式 ・修了・閉講式	25	12,825
広報活動	・学生間の情報共有を促進するため，学内広報誌「団欒」を発刊した。 ・文芸誌「老学文苑」を発刊した。	—	—
ボランティア活動	・近隣小学校，児童館で昔遊びや囲碁・将棋，七夕飾り作り等を教えている。 ・近隣中学校で「仙台自分づくり教育」の一環として，キャリア教育の講師を務めた。 ・市民センター事業への協力や外部からの要請にも対応した。 ・学習会の度にワンコイン募金活動を行った。	—	—

(2)「学都仙台サテライトキャンパス」支援事業

＜生涯学習支援センター＞

大学等の高等教育機関の連携組織である「学都仙台コンソーシアム」（平成 18 年設立）のうち「サテライトキャンパス部会」で実施する公開講座「学都仙台サテライトキャンパス」や部会構成校が独自に実施する市民向け公開講座について、市民が円滑に講座を受講できるよう情報提供等の支援を行った。

(3) 秋の子どもの日事業

秋休み期間中の子どもの居場所作りとして、各区中央市民センターで子ども向け事業を実施した。

開催日	主催館名	内容	参加者
10月13日（月）	若林区中央市民センター	秋の子どもの日「ワカチュウ子どもランド」 小学校の秋休みに合わせて、工作、茶道、マジック教室などの体験の場の提供や遊びのコーナーやスタンプラリーを実施した。	351

(4) その他の主な事業

① 若い青年教室

＜生涯学習支援センター＞

仙台市内に在住又は勤務している知的障害者青年に対し、仲間づくりや生活上の基本的知識・技能の習得に役立つ活動を展開することを目的として学習機会を提供する事業を行った。

【昭和 45 年度開設（平成 26 年度：教室生 41 名 9 回実施）】

② その他

館名	事業名	内容	開催回数	参加者
青葉区中央市民センター	子どものための日本語講座	日本語を母語としない小学生、中学生に日本語を学習する機会を提供し、充実した学校生活が送れるように支援している。	34	249
	せんだい日本語講座	在仙の外国人等に、日常生活に必要な日本語習得の機会を提供するとともに、日本の伝統文化に触れ交流する場を設定することで、国際交流や多文化理解を促進している。	668	5,247
宮城野区中央市民センター	宮城野学講座	市民企画員を中心に、宮城野の地形から生まれた風土や文化について、より広く伝え、後世に継承していけるような講座を開催する。	3	90
	未来に伝えたい宮城野の記憶	人々の暮らしやまちの変遷・逸話など、市民の生活を後世に伝える、資料（アーカイブ）づくりにつながる講座を実施する。	2	40

若林区 中央市民 センター	家庭教育講座	未就学児の保護者、子育てに関心のある方を対象に「子育てのストレスを考える～子どもとの時間を楽しく過ごすために～」と題した講演を大学教授を講師に迎えて実施した。	1	29
	私の地方史研究	主に仙台市内の歴史・民俗を対象とし、文献資料の使い方や有形資料の事実記載などを学んだ。各受講者は、史資料の使い方は一定程度上達したが、当初目的とした調査報告書の作成までは至らなかった。	10	45
	六郷・七郷を訪ねる会	震災の記憶をとどめるとともに復興を支援するきっかけとしてもらうため、六郷・七郷地域を市民がバスで巡り、地域の状況を見聞きする機会を設けた。	2	97
	バリアフリースポーツ「ボッチャ」普及事業	年齢・性別・障害の有無に関わらず楽しめるスポーツ「ボッチャ」を体験できる場として、月1回の定例会及び年1回の大会を開催した。	12	186
太白区 中央市民 センター	あすと長町地域活性化事業	太白地区住民を対象に長町秋のフェスティバルと題して「食」・「スポーツ」をキーワードに『なわとび大会』と『綱引き大会』、さらに、長町食のイベント『N1グランプリ』を開催した。	1	5,600
泉区中央 市民セン ター	みんなでジャンプ	地域の小学生を対象に地域交流と世代間交流を図る長縄跳び大会を実施した。また、スポーツ関係団体と連携し、事業拡大を図った。	1	400

3 学校・地域連携推進

学校や地域団体等とネットワークをつくり、さまざまな人たちが連携して課題に取り組めるように必要に応じて、つなぎ手、支え手の役割を果たす。

(1) 学びのコミュニティづくり推進事業

＜生涯学習支援センター＞

子どもの健やかな育ちを支援するための多様な人間関係を地域に育てることを目的として、PTA、町内会等地域のさまざまな団体が連携して子どもと大人の交流や自然体験、社会体験の機会を提供する事業を実施している。各事業は学校や市民センターが事務局となっており、学校・家庭・地域社会がそれぞれの教育機能を相乗的に発揮する地域づくりを目指している。

平成 26 年度は 5 団体に対して委託を行った。

《平成 26 年度の団体状況》

【委託期間内の団体】…5 団体

山ガキ隊わくわく学校推進委員会 新規

学コミ「中野栄楽舎」 新規

ロングライフヒルコミュニティ協議会 2 年目

袋原中学校区学びのコミュニティ推進委員会 2 年目

川平学びのミュージアム 3 年目

【委託期間終了後も継続して活動している団体】…24 団体

【活動休止団体】… 1 団体

計 29 団体が事業実施

(2) 学びのコミュニティづくり推進事業支援等

「学びのコミュニティづくり推進事業」の委託団体及び、3 年間の委託期間終了後も自主的に事業を実施している団体に対して、活動支援を行った。

【平成 26 年度に市民センターが関わった主な事業（委託期間中の事業）】

館名・事業名	概要	実施回数	延参加者
太白区中央市民センター			
秋保地区学びのコミュニティ推進事業推進委員会（がんばれ秋保っ子）	秋保中学校区の各団体と協力して事業を実施することで地域全体で子どもを育てていくきっかけをつくった。 ・10月19日 がんばれ秋保っ子キックベースボール大会（参加者 43 名） ・1月10日 秋保カルタ大会（参加者 78 名） ・秋保地区行事カレンダー作成	9	270
生出地区学びのコミュニティ推進事業推進委員会（おいで里ネット）	子どもの9年間の育ちを地域とともに支えることを目標に、生出中学校区を活動エリアとして小中3校・同PTA・太白区中央市民センターを中心に設立。平成26年度は子ども達が地域住民とともに学ぶ機会として下記の事業を実施した。 ・おいでサマーキャンプ (参加者 60 名：赤石分校)	6	150

【委託終了後の事業に対する継続的支援等】

館名・事業名	概要	実施回数	延参加者
青葉区中央市民センター			
旭ヶ丘わんぱく森 ² がっこ	旭ヶ丘小学区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・森 ² ファーム、旭ヶ丘ホテルまつり参加、旭ヶ丘夏まつり参加、森 ² デイキャンプ ほか	11	150
かみすぎねっと	上杉山通小学校区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・おもしろ子ども会、Gakkou へ泊まろう ほか	4	100
まちがっこ	東二番丁小学校・幼稚園をはじめ、青葉区中央市民センター周辺の関係団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・花のあるまちづくり、どろんこ遊びをしよう！ ほか	4	208
ひろせ山がっこ	広瀬小学校区、愛子小学校区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・学校に泊まろう！、宮城地区まつり	4	320
宮城野区中央市民センター			
榴岡かいわい学びのコミュニティづくり推進事業	仙台駅東口かいわいの幼児、小学生を対象として遊びの広場を提供した。また、地域の住民や中学生、ボランティア等の参加も促し、異世代間の交流を図った。 ・8月30日 第13回つつじがおかワイワイ夏まつり ・11月24日 第8回つつじがおかワイワイ冬まつり	2	900

若林区中央市民センター				
南小泉子どものふ るさとづくり推進 事業	学びのコミュニティづくり推進事業で立ち上げた「南小泉パパネット」が南小泉小学校の児童や保護者を対象に実施する事業への支援を行った。 ・7月19日 なつなつ南小 ・2月22日 ふゆふゆ南小	2	184	
区内小学校合宿 等支援	学びのコミュニティづくり推進事業から続く「通学合宿！連坊！」など区内小学校の合宿等の事業を支援した。 ・7月26～27日 学校に泊まろう会（六郷小） ・7月26～27日 学校に泊まろう会（大和小） ・8月16～17日 キャンプ in 南材（南材木町小） ・10月8～10日 通学合宿！連坊！ （連坊小路小）	4	350	
若林小あそび場 支援	若林小学校を中心に放課後の児童に小さな冒険を秘めた遊びの場をつくる「若林小あそび場」の活動（概ね月1回開催）を、関係団体、若林児童館、若林市民センター、ボランティアとともに支援した。	12	1,160	
太白区中央市民センター				
ながまち学びネ ット	長町中学校区（長町小・長町南小・鹿野小学校区）内児童・生徒や保護者、地域住民とともに、子どもたちの健全育成を目的とした参加体験型の活動を行い、地域コミュニティを深めていく。 ・7月31日 こども防災キャンプ（参加者47名） ・11月29日 ながまっちーズ（参加者約220名）	8	128	
とみざ和がっこ	前年度成果を生かし、既存のネットワークに新規団体を交えて企画・運営を行った。交流会や行事を通して、地域支援活動の人材の輪が広がった。地域関係者に自主事業を企画運営するノウハウを伝承する準備が進んだ。 ・10月13日 スポーツ交流会（参加者140名） ・11月29日 オープン富中（参加者155名）	10	324	
泉区中央市民センター				
区内学コミ連絡 会	区内で活動している各学コミ委員会と情報を共有し、学コミの活動の促進ならびに拡大を図った。 ・6月14日 第1回連絡会（年間計画、情報交換） ・1月24日 第2回連絡会（ワールドカフェ方式）	2	57	
ふれあい学びネ ットい・ず・み推 進委員会	七北田中学校区内の諸団体が連携し、青少年健全育成事業の展開を図るとともに、子どもの居場所づくり事業について協議、企画、実施した。 ・8月5～6日 キャンプだホイ！2014in 野村 ・10月18日 七小ゆめフェスティバル ・10月25日 いずちゅう☆子ども縁日&屋台 ・1月22日 水谷先生のミニ講演会 ・2月15日 あそびの天国 2015	11 1 1 1 1 1	291 154 221 335 30 483	
学びのコミュニ ティ支援事業（南 中山編）	南中山市民センターが核となった『まなびネット「いずみ中山」』を支援。推進委員会を毎月1回開催した。 ・7月21日 支倉川川遊び ・12月21日 門松づくり	12 1 1	108 102 51	

(3) 嘱託社会教育主事研究協議会区部会との共催事業

嘱託社会教育主事（社会教育主事資格を持ち学校に在籍している教員）研究協議会の各区部会と各区中央市民センターの共催による事業を通して、子ども達の健全育成や地域コミュニティの活性化を図り、地域で子どもを育てる環境づくりを推進している。

館名	内容	実施回数	参加者
青葉区中央市民センター	7月3日 青葉区社会教育推進連絡会研修会 7月6日 ジュニアリーダー初級研修会 8月24日 ジュニアリーダーとの交流会研修会 「青葉チャレンジJL in 美術館」 9月7日 子ども会対象事業 「青葉チャレンジキッズ in 科学館」 11月22日 きもちのよい声で 笑顔UP ～あたたかい声のコミュニケーションで あふれる笑顔の家庭に～	5	310
宮城野区中央市民センター	8月3日 宮城野区ジュニアリーダー 初級研修会・交流会 11月26日 嘱託社会教育主事・地域連携担当職員・市民センター職員研修会 1月17日 インリーダー研修会事前打合せ会	3	98
若林区中央市民センター	11月22日 ものづくり体験教室 (クッキーづくり, いわしの蒲焼づくり, 生け花づくり, 和とじ本づくり, 凧づくり, 竹細工教室) 11月26日 学校と連携したまちづくり市民会議 12月14日 ジュニアリーダー初級研修会 1月10日 インリーダー研修会事前打合せ兼 研修会 2月 インリーダー研修会	10	約 400
太白区中央市民センター	6月6日 第1回太白区内地域連携ネットワーク 会議 6月14日 秋保インリーダー研修会 6月28日 ジュニアリーダー初級研修会 7月30日 第2回太白区内地域連携ネットワーク 会議 6月～1月 太白区内地域連携ネットワーク事業地 区ごと 17 事業実施 11月3日 長町秋のフェスティバル (協力事業) 12月13日 インリーダー研修会事前打合せ会 1月23日 第3回太白区内地域連携ネットワー ク会議 1月～2月 インリーダー研修会	約 120	約 9,000
泉区中央市民センター	7月5日 市民センター嘱託社教合同研修会 8月17日 親子で根白石化石ホリダー 11月1日 親子で大学たんけん 11月27日 ブロック別地域連絡会 11月30日 泉区ジュニアリーダー初級研修会 1月17日 第8回みんなでジャンプ	6	744

(4) 地域コーディネーター育成研修

<生涯学習支援センター>

地域力を高める視点に立ち、地域内のコミュニケーションやネットワークの活性化を目指し、地域で核となる人材を育成する事業で、市民協働により研修内容を企画・実施した。

平成 26 年度の実施状況は下記のとおりである。

(ア) 第1回地域コーディネーター研修会 (H26. 6. 19 参加者 90 名)

【内容】

- ・講話「子どもと地域をつなぐネットワーク」(東北学院大学教授 水谷 修 氏)
- ・事例発表「愛子ハグリッズについて」(愛子ハグリッズ運営委員長 千田 初男 氏)
- ・情報交換

(イ) 第2回地域コーディネーター研修会 (H26. 10. 17 参加者 90 名)

【内容】

- ・事例発表Ⅰ 講師 山川 由紀子 氏(西中田小学校支援地域本部スーパーバイザー)
「地域の力で子どもたちを育てよう！～西中田こみこみスクールの取り組み～」
- ・事例発表Ⅱ 講師 小岩 孝子 氏(東四郎丸小学校支援地域本部スーパーバイザー)
「学校と地域と共に～地域みんなで子育て～」
- ・地域連携のポイント～事例を通して～
- ・情報交換

(ウ) 第3回地域コーディネーター研修会 (H26. 12. 11 参加者 83 名)

第2回地域コーディネーター研修会のアンケート結果を踏まえて、多様なニーズに対応するため、ポスターセッション形式による事例発表を実施した。

【事例発表の内容】

テーマ	主な内容
東四郎丸小学校における地域連携の取り組み	学校と地域が地域課題を共有しながら、その課題を解決するために連携を深めていった東四郎丸小学校の事例を紹介。
富沢中学校における地域連携の取り組み	富沢中学校「サポーターおかしわ」(学校支援地域本部)の取り組みにより、生徒に対する教育効果が高まっている様子を紹介。
遠見塚Y O U - G O クラブの取り組み	一人で地域を動かすことはできないが、つながることにより可能性が広がることを、遠見塚Y O U - G O クラブの事例を通して紹介。
ふれあい学びネットい・ず・み推進委員会の取り組み, 他	地域の子どもの育ちを応援しよう！地域の諸団体&大人同士が子どもをキーワードにコミュニティづくりをしよう！という事業を通して、つながる輪の広がりを紹介。
上野山小学校における学校支援の取り組み	上野山小学校で平成26年度に立ち上げた学校支援地域本部や学コミについて、現段階での成果や困りごと等について紹介。
マイスクール川平が川平学びのミュージアム推進委員会(学コミ)を設立するまで	マイスクール川平のメンバーの思いから立ち上げた学コミを通して、一つの団体の働きかけから、地域連携の可能性が広がることを紹介。

(5) 地域の絆づくり推進事業

<生涯学習支援センター>

東日本大震災における体験や記憶を次世代に継承し、震災後の地域の復興・再生に資する市民センター事業を実施し、地域力・市民力の醸成・発展を図ることを目的とする。具体的には、地区市民センターにおいて、大学・企業・NPO等と協働し、災害や環境、コミュニティ再生、防災・減災教育などをテーマにして、専門性の高い事業や成果を大きく発信できる事業などを、地区市民センターの提案型事業として実施した。

平成 26 年度の実施状況は下記のとおりである。なお、本事業は平成 24 年度から 3 か年事業として実施したものであり、平成 26 年度をもって事業を終了した。

館 名	事 業 名
柏木市民センター	ふしぎ！発掘！再現！—不思議な地形をジオラマにしよう
片平市民センター	片平地区・みんなでわいわい街づくり，絆づくり
広瀬市民センター	きずなカフェ～めざすのは人と地域の輝き～，田んぼアート
宮城西市民センター	ふるさと食だより
落合市民センター	みんなの力で地域防災・減災
鶴ヶ谷市民センター	私たちの鶴ヶ谷～これまでを学びこれからを考えよう～
幸町市民センター	一人ひとりにやさしい防災の輪—防災でつながる人と人—
七郷市民センター	あのときを忘れない—震災の記憶
八木山市民センター	探そう，つくろう，「八木山新名物」
高森市民センター	新しいふるさとづくり事業

（６）高等学校開放講座

＜生涯学習支援センター＞

仙台市立高等学校の持つ施設や人材を活用して，各校が特色ある市民向け講座を実施した。

学校名	講座名	内容	実施日	申込者	受講者
仙台工業高校	モノクロ写真の暗室技術～フィルム現像からプリントまで	フィルム現像からプリントまで，モノクロ写真技術を体験する初心者向け講座	7 月 20 日 7 月 21 日	8	8
仙台大志高校	楽しく学ぼう初歩からのエクセル入門	表計算ソフト（エクセル 2010）で，合計や平均などの関数を利用して簡単なグラフを作成する	9 月 13 日 9 月 14 日	45	23
仙台青陵中等教育学校	仙台の魅力を英語で発信	仙台を知り，世界へ向けて仙台の魅力を英語で発信するための方法を学び，実演する	10 月 30 日 11 月 6 日	15	12
仙台高校	P 検 3 級対策講座	P 検 3 級対策の学習（コンピュータ知識や I C T の活用等）	11 月 15 日 11 月 29 日	10	8
仙台商業高校	表計算入門『エクセル 2013 基礎講座』	表計算ソフト（エクセル 2013）を基礎から学ぶ	11 月 29 日 11 月 30 日	70	30

4 学習情報収集・提供事業

地区市民センターが収集している地域情報を含め、広く情報を集積し、多様な媒体に整理・保管し、広く市民が活用できるよう公開する。

(1) 学習情報レファレンスシステム・市民センターホームページの運営

＜生涯学習支援センター＞

市民の学習意欲に応え、的確な情報提供サービスを展開することで、効果的に市民の学習活動を支援するため、生涯学習支援センターと市民センターをインターネット回線で結び、生涯学習に関するより新しい情報を提供するとともに、市民の学習相談に応じることを目的として平成12年3月より運営している。

平成26年11月にシステム機器を更新し、新たな「市民センターホームページ」と「学習情報データベース」の運用を開始した。新たなホームページでは、各市民センターの情報を統合して表示したり、講座の開催日を検索しやすくするなどの手法により、市民により分かりやすいページ構成とした。

市民センターホームページの URL <http://www.sendai-shimincenter.jp>

【平成26年度末 仙台市学習情報レファレンスシステム登録情報数】

情報種類	平成26年度末現在
団体・サークル情報	2,664
人材・講師	10,684
事業	2,416
合計	15,764

【平成26年度 市民センターホームページアクセス件数】

閲覧ページ数	2,539,801	一日あたりの閲覧数	6,958
概算訪問者数	608,912	一日あたりの訪問者数	1,668
ユニーク訪問者数	257,238		

仙台市市民センター

[▶ 仙台市公式ウェブサイト](#) [▶ 仙台市教育委員会](#)

[▶ サイトマップ](#)

[総合トップ](#)
各区の市民センター
[青葉区](#)
[宮城野区](#)
[若林区](#)
[太白区](#)
[泉区](#)





**仙台市市民センターへ
ようこそ**

市民センターの概要とご利用方法をご紹介します



生涯学習のすすめ

みなさんの「まなびたい」を応援します



地域と共に

こんな時、市民センターをご利用ください



PICK UP

各地の市民センターでの活動をご紹介します

(2) 市民センター事業ガイド

<生涯学習支援センター>

講座等参加者の募集中，募集予定がある事業について，区ごとにまとめ，毎月 1 回発行して，市民への情報提供を行った。

(3) その他の学習情報提供事業

館名	事業名	概要	実施日等
若林区中央市民センター	若林区の映像保存・活用事業	震災からの復興の様子や豊かな自然，地下鉄東西線開業に向けて変化する街の様子などをボランティアが撮影し，市政だよりの若林区のお知らせのページに「若林の新風景」として掲載したほか，これらの写真のパネル展示を区役所などで開催した。	通年
	語り継ぐ震災の記憶	平成 25 年度に作成した震災被災者の体験記録集「語り継ぐ震災の記憶」を基にした朗読劇を国連防災世界会議パブリックフォーラムとして上演した。また，記録集の日英対訳ダイジェスト版を 1,000 部作成し，国連防災世界会議の期間中せんだいメディアテークで来場者に配布した。	3 月 14 日

5 人材育成

(1) 職員研修

＜生涯学習支援センター＞

市民センター等の社会教育施設職員を対象に、社会の変化や市民のニーズに対応しながら、積極的に市民及び地域と連携するために必要な専門性やコーディネート力などの向上を図る研修を実施した。

【研修内容】

研修名	受講対象	概 要	参加者
生涯学習研修	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員	第1回「社会教育施設新任職員研修」 5月28日（水） ◎講話1 「仙台市の社会教育・生涯学習について」 仙台市教育局生涯学習課長 奥山 健一 氏 ◎事例紹介 「市民の学びを支えるために～参加・空間・資源・協働～」 仙台市民図書館主査 関谷 俊一 氏 泉区中央市民センター主査 高橋 美和 氏 ◎講話2 「社会教育施設職員に求められるもの」 東北大学大学院教授 高橋 満 氏 ◎グループワーク 等	45
		第2回「学びの連携～せんだいメディアテーク見学～」 6月25日（水） ◎施設見学「せんだいメディアテークの概要～施設編～」 企画・活動支援室企画事業係長 清水 有 氏 ◎講話 「せんだいメディアテークの概要～事業編～」 企画・活動支援室長 甲斐 賢治 氏	49
		第3回「学びの場づくり」 7月29日（火） ◎講話 「学びの場づくり～大人らしい講座のあり方の創意工夫～」 東北芸術工科大学教授 松田 道雄 氏 ◎グループワーク等（兼社会教育にかかるスキルアップ研修②）	55
		第4回「成人の学びの特質」 9月12日（金） ◎講話 「成人の学びの特質について」 宇都宮大学地域連携教育研究センター教授 廣瀬 隆人 氏	39
		第5回「学校と地域の連携」 10月28日（火） ◎基調講話「学校と地域の連携」 東北学院大学教授 水谷 修 氏 ◎グループワーク「『仙台発そなえゲーム』の体験」 市民協働による地域防災推進実行委員会の皆さん ◎パネルディスカッション 「学校と地域の連携による地域防災学習の可能性」 コーディネーター 石垣 恵 氏（上野山小学校教頭） パネリスト 小岩 孝子 氏 （市民協働による地域防災推進実行委員会代表） 菅野 英幸 氏（高砂中学校主幹教諭） 丹尾 和典 氏（若林区中央市民センター主査） 講評 水谷 修 氏	235

市民センター 新任職員研修	・市民センタ ー職員 ・関係課職員	4月23日(水) ◎講話1 「新任職員への期待」 東北学院大学教授 水谷 修 氏 ◎講話2 「市民センターの概要」※ ◎講話3 「学習情報提供・相談と学習情報の発信について」※ ◎講話4 「青少年健全育成事業について」※ ◎グループワーク(研修内容の振り返り)※ ※生涯学習支援センター職員が担当	37
市民センター 館長研修	・市民センタ ー館長	6月20日(金) ◎講話 「地域資源を活かした地域づくり」 宮城大学教授 宮原 育子 氏 ◎ワーク(地域資源を生かしながらの事業連携を考える)	57
社会教育事業 の評価に関す る研修会	・生涯学習支 援センター、 各区中央市 民センター 等に所属す る教育局職 員	第1回 4月19日(土) ◎講話等 「評価について」及び「社会教育事業と評価」 NPO法人教育支援協会代表理事 吉田 博彦 氏(3回とも)	15
		第2回 11月7日(金) ◎事業評価についての意見交換等	16
		第3回 1月8日(木) ◎事業評価についての意見交換等	16
社会教育にか かるスキルア ップ研修	・市民センタ ー職員 ・他の社会教 育施設職員 ・関係課職員	第1回「伝えたいことを分かりやすく伝えるための研修」 5月22日(木) ◎講話 「伝えるということ～プレゼンテーション～」 ◎実技研修「実際に作ってみよう『この事業はここが売り!』」 仙台市立寺岡小学校主幹教諭 遠藤 浩志 氏	43
		第2回(第3回生涯学習研修後半に兼ねて実施) 7月29日(火) ◎グループワーク「大人らしい講座のあり方の創意工夫」 東北芸術工科大学教授 松田 道雄 氏	55
		第3回「行列ができる講座とチラシの作り方」 8月20日(水) ◎講話 「行列ができる講座とチラシの作り方」 NPO法人男女共同参画おおた理事長 坂田 静香 氏	53
社会教育にか かる現代課題 対応研修	・市民センタ ー職員 ・他の社会教 育施設職員 ・関係課職員	第1回「みんなのための避難所作りワークショップ」 6月5日(木) ◎ワーク 「震災時の体験やそこで得た気づきについて」 及び、「もしあなたが避難所運営委員だったら？」 (公財) せんだい男女共同参画財団	47
		第2回「多文化共生」 7月2日(水) ◎外国人によるパネルトーク及びQ&A ◎異文化理解ワークショップ「バーンガ」 ◎外国人来館者対応のための「外国語&やさしい日本語」レッスン (公財) 仙台国際交流協会と留学生の皆さん	57
		第3回「市民協働のためのファシリテーション研修会」 10月3日(金) みらいず works 代表 小見 まいこ 氏 ◎以下の内容を講師による講話及びワークによって進めた。 ・ファシリテーションとは、ファシリテーショングラフィックとは ・インタビューワーク 「社会教育施設職員として、大切にしていること、目指していること」 ・ファシリテーショングラフィックを用いた創造的な会議 「市民協働を推進するために、みんなで深めてみたいテーマ等」 ・ミニ講義「ファシリテーションの活用事例とポイント」 等	26

		第4回「子どもたちと社会をつなぐ豊かな学びを ～子どもの参画を進めるために～」 12月5日（金） ◎講話等「子どもたちと社会をつなぐ豊かな学びを ～子どもの参画を進めるために～」 宮城教育大学教育復興支援センター副センター長 野澤 令照 氏 第5回「若者との協働～ポイントと目指すべきカタチ」 1月22日（木） ◎講話等「若者との協働～ポイントと目指すべきカタチ」 仙台市市民活動サポートセンター長 菊地 竜生 氏	31 21
生涯学習ボランティアとの協働についての研修	・市民センター職員 ・他の社会教育施設職員 ・関係課職員	6月18日（水） 「生涯学習ボランティアとの協働についての研修 ～パートナーシップとコラボレーション」 ◎講話「人を生かすボランティアコーディネーション」 特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる代表理事 大久保 朝江 氏	61
事例発表研究研修	・市民センター職員 ・関係課職員	2月26日（木） ※ 住民と協働しながら地域課題の解決を目指す地域に根ざした地区市民センター及び生涯学習支援センターによるモデル事業の成果と課題の発表 ◎事例発表 「花と緑、エコタウン事業」 中山市民センター 「中学生地域貢献講座等」 東部市民センター 「学び直し講座」 生涯学習支援センター コーディネーター：東北学院大学教授 水谷 修 氏	42

（２） 学びのまち仙台市民カレッジ事業

本市における生涯学習の支援拠点として、全市域の市民を対象に、社会ニーズや現代的課題に対応した、専門的で質の高い学習の機会を創出することで、学びを通じた市民力の育成を目指すとともに、学習成果が地域や社会に還元されるような仕組みづくりを進める。

① 「地域づくり支援講座」

＜生涯学習支援センター＞

市民を対象に、市内外における先進事例の紹介や視察、講演等からなる講座を企画・実施し、地域づくりに必要な知識やスキルを習得するための、より専門的な学習機会を提供することにより、地域づくりを牽引する人材を育成した。

【学習内容】

回	日 時	概 要	参加者
1	5月2日 （木）	◎開講式 ◎グループワーク（自己紹介等） ◎講話「地域づくりを楽しもう～おやじの会や学コミ等の地域活動について」 せんだい泉エフエム放送株式会社取締役事業部長 阿部 清人 氏 ※以降、毎回のナビゲーターは、阿部 清人 氏	17
2	7月5日 （土）	◎事例見学 ・『将監沼の自然』とふれあいを育む会の活動 将監沼の自然とふれあいを育む会事務局長 高橋 節子 氏 ・「桂島緑地未来プロジェクトの活動」 桂島緑地未来プロジェクト 岩原 正直 氏 他	14
3	8月6日 （水）	◎講話「地域の中で人と人をつなぐコーディネートのポイント」 地域社会デザイン・ラボ代表 遠藤 智栄 氏	14

4	9月3日 (木)	◎講話「地域でのネットワークの広げ方」 お父さんたちのネットワーク世話人 石垣 政裕 氏	10
5	10月1日 (水)	◎講話「地域資源を活かそう」 宮城大学教授 宮原 育子 氏	10
6	11月8日 (土)	◎事例見学 ・国見・千代田のより処「ひなたぼっこ」 ひなたぼっこ主任 木皿 泰子 氏 ・東北福祉大学「まごのてくらぶ」 まごのてくらぶ 学生 6名	9
7	12月4日 (木)	◎講話「コミュニティビジネスで地域を元気にしよう！」 宮城大学教授 風見 正三 氏	12
8	1月7日 (水)	◎ワーク「これまでの学びのふりかえりと今後の抱負」 せんだい泉エフエム放送株式会社取締役事業部長 阿部 清人 氏 ◎講評・閉講式	12

② 「学び直し」事業

＜生涯学習支援センター＞

就業に関する世代ごとに抱える課題解決を支援するため、社会教育施設として就業に必要なスキルを向上させるための効果的な学習支援を行った。

○若者向け就労支援講座 「働くためのはじめの一步」

対象：現在就学・就労いずれもしていない、概ね10代後半～20代の方

場所：生涯学習支援センター 第2セミナー室

【学習内容】

回	月日	概 要	参加者
1	10月29日 (水)	◎講話「働くために～まずは自分を好きになる～」 NPO法人わたげの会学習サポートセンター センター長 後藤 孝聡 氏	36
2	11月2日 (日)	◎活動・支援「体を動かそう～巨大ダンボール迷路づくり～」 ※作業を通して大学生等他者との交流の機会を持つこと等をねらいとし、11月3日開催のイベント「東口ゆうえんち 巨大迷路であそぼう」に向けた迷路作りに参加した。	12
3	11月12日 (水)	◎講話「働くとは？～自分に合った働き方を考える～」 NPO法人わたげの会学習サポートセンター センター長 後藤 孝聡 氏 NPO法人わたげの会せんだい若者サポートステーション 藤村 謙太郎 氏	24

○女性向け就労準備講座 「働く「わたし」をイメージ～なりたい自分に近づくために～」

対象：2～3年後、子どもが就園・就学等をしたら働きたいと考えている現在子育て中の女性

場所：太白区中央市民センター 大会議室

【学習内容】

回	日 時	概 要	参加者
1	2月3日 (火)	◎講話「先輩ママの話」 子育てをしながら働いている女性3名 ファシリテーター：のびすく仙台館長 伊藤 仟佐子 氏	12
2	2月10日 (火)	◎ワークショップ「働き始めた後の生活をイメージする」 (公財) せんだい男女共同参画財団	14
3	2月17日 (火)	◎講話とワーク「職場で役立つコミュニケーション ～自分も相手も笑顔になるコミュニケーションのコツ～」 ドリームフィールド代表 阿部 侑生 氏	11

③ 生涯学習に係る連携・協力の推進

＜生涯学習支援センター＞

大学等高等教育機関、民間企業、各種団体等との連携を強化するため、先進事例の収集や視察、有識者との意見交換等調査研究を実施した。

【先進事例視察】

回	月日	概	要
1	7月15日 (火)～ 16日(水)	◎視察地：新潟市生涯学習センター ・にいがた市民大学新潟学コースの聴講 ・生涯学習センターにおける生涯学習事業についての調査	
2	8月4日 (月)～ 5日(火)	◎視察地：北九州市立生涯学習総合センター ・北九州市民カレッジまちづくり・人材育成系コースの聴講 ・生涯学習総合センターにおける生涯学習事業についての調査	

【意見交換等調査研究】

回	日時	概	要
1	2月18日 (水)	◎有識者へのヒアリング ・せんだい泉エフエム放送株式会社取締役事業部長 阿部 清人 氏 ・北中山おやじの会長, NPO 法人まなびのたねネットワーク 望月 斉 氏 ・地域社会デザイン・ラボ代表 遠藤 智栄 氏	
2	2月18日 (水)	◎有識者へのヒアリング ・仙台市市民活動サポートセンター長 菊地 竜生 氏 ・(公財) せんだい男女共同参画財団エルソーラ仙台 管理事業課長 渡邊 ひろみ 氏 ・(公財) 仙台国際交流協会総務企画課長補佐 須藤 伸子 氏	
3	2月20日 (金)	◎有識者へのヒアリング ・東北学院大学 教授 水谷 修 氏 ・宮城教育大学 教授 梨本 雄太郎 氏	
4	2月24日 (火)	◎有識者へのヒアリング ・宮城教育大学教育復興支援センター副センター長 野澤 令照 氏	

(3) ボランティア養成等人材育成事業

① 託児ボランティア養成

＜生涯学習支援センター＞

「いつでも」「どこでも」「誰でも」学習できる「学びのバリアフリー事業」の一環として、子育て中の保護者が安心して学習できるように講座に託児を付設している。

託児付き事業の託児室は、市民参画による市民のためのものとしてボランティアによる主体的な運営を前提としており、その中で活躍する託児ボランティアを支援するとともに、新たな託児ボランティアの養成・育成のための事業を実施した。

【研修内容】

事業名	内容	開催日	延受 講者
託児ボランティア養成講座	託児ボランティアとしての活動に必要な知識や技術を学んだ。 ・オリエンテーション 「託児ボランティア活動について」 ・講話「子どもを取り巻く環境①遊びと発達」 講師：仙台市蒲町保育所 ・移動学習「子どもを取り巻く環境②保育所見学」 仙台市支倉保育所見学 ・講話「子どもの病気と怪我」 講師：泉区家庭健康課 ・話し合い、実技「これからの活動に向けて」	9月4日 9月11日 9月18日 9月25日 10月2日	53
託児ボランティアフォローアップ研修	より質の高い託児室運営のため、託児ボランティアの資質や技術向上に役立つ研修を実施した。 ・育児のためのヨガ教室 講師：ヤスミンフレーバー代表 ヨガセラピスト 二木 ひろえ 氏	12月2日	44
託児ボランティア活動支援 (連絡会・調整会の開催)	市民センターで活動する託児ボランティアに対し、連絡会、託児調整会等の開催により、日常の活動を支援した。	5月13日 10月7日 3月10日	108

【託児ボランティアグループ一覧】（平成27年3月現在）

グループ名	設立年月日	最寄の市民センター	会員数
さくらんぼ	H14.5.8	青葉区中央市民センター	4
ひまわり	H9.8.1	水の森市民センター	8
プーさん	H3.1.1	水の森市民センター	4
ポッケの会	H2.3.25	広瀬市民センター	5
アリスの会	H5.7	生涯学習支援センター	5
ぐるんぱ	H18.12	生涯学習支援センター	4
にんじん	S59.7.9	東部市民センター	5
クリップ	H9.4.1	六郷市民センター	9
でんでんむし	H12.3.22	東中田市民センター	7
ハイジ	H22.4	荒町市民センター	7
こんぺいとう	H7.10.1	茂庭台市民センター	3
たんぼぼ	H4	富沢市民センター	6
ねこのて	H26.4	西多賀市民センター	5
キャンディ	H22.4	南光台市民センター	6
ちゅうりっぷ	H13.3.14	泉区中央市民センター	18
てっぺの会	H6.4	寺岡市民センター 他	6
合計 16 グループ / 会員数 102 名			

② 図書ボランティア活動支援

＜生涯学習支援センター＞

全市民センターのうち 28 館の図書室で、市民ボランティアの協力により図書の貸し出し等の運営を行っている。その活動を支援するための研修を実施した。

【研修内容】

事業名	内容	開催日	受講者
図書ボランティア スキルアップ研修	実技「身近なものを使った本の修繕方法」 講師：榴岡図書館 館長 中里 省一 氏 司書 遠藤 未雪 氏	12 月 17 日	23

【図書ボランティア一覧】（平成 26 年 7 月現在）

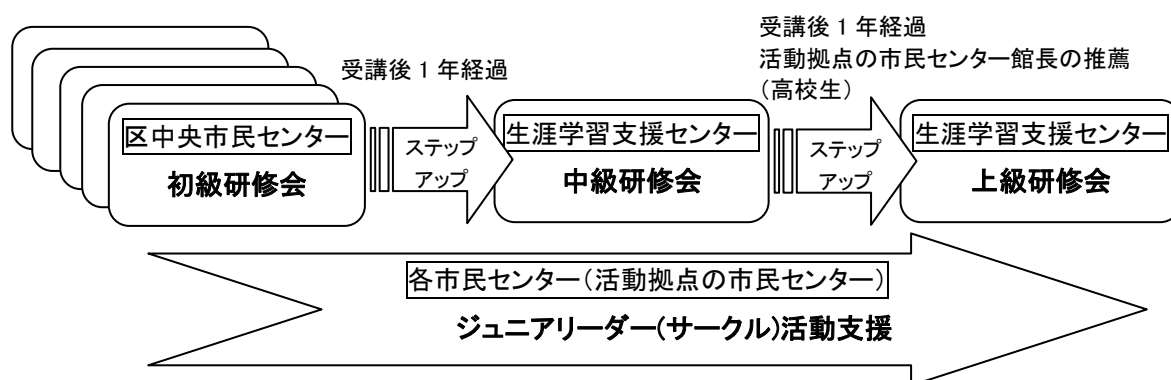
グループ名	活動館	会員数
さくらさくら	北山市民センター	11
カンナの会	福沢市民センター	11
図書ボランティアぽけっと	三本松市民センター	16
葉の会	落合市民センター	13
（個人登録）	片平市民センター	7
（グループ名なし）	水の森市民センター	19
ひまわり	貝ヶ森市民センター	8
（個人登録）	中山市民センター	8
コスモス文庫	大沢市民センター	13
図書ボランティアたんぽぽ	吉成市民センター	9
図書ボランティア	木町通市民センター	8
しおりの会	岩切市民センター	9
おはなしこぶた	岩切市民センター	3
（グループ名なし）	田子市民センター	6
ターンぽっぽ	東部市民センター	8
かすみそう	高砂市民センター	4
図書ボランティアみちくさ	荒町市民センター	10
（個人登録）	七郷市民センター	9
（個人登録）	沖野市民センター	8
ブックスフレンド中田	中田市民センター	14
八木山図書ボランティア委員会	八木山市民センター	39
図書ボランティア縄文	山田市民センター	9
富沢市民センター図書ボランティアの会	富沢市民センター	25
（個人登録）	東中田市民センター	7
茂庭台図書ボランティア	茂庭台市民センター	10
図書ボランティア	西多賀市民センター	10
図書ボランティアコスモス	八本松市民センター	8
ブックポケット	柳生市民センター	6
松森市民センター図書ボランティア	松森市民センター	17
ボランティア数計 325 名		

③ ジュニアリーダー育成・支援

ジュニアリーダーとは、青少年ボランティア活動の一環として、仙台市教育委員会の支援を受け各市民センターを拠点として活動している中学生・高校生である。

ジュニアリーダーの主な活動内容は、地域の子ども会活動を活性化するための支援であり、このような活動を通して、地域全体の活性化に貢献している。また、子どもを対象としたイベントの企画・実施やその他のボランティア活動にも積極的に取り組んでおり、こうした活動が、ジュニアリーダー自身の人格形成にも役立っている。

ジュニアリーダーを育成するために、各区中央市民センターにおいて初心者を対象とした初級研修会、生涯学習支援センターにおいてステップアップ研修となる中級研修会・上級研修会を実施している。さらに、ジュニアリーダーの活動の拠点となっている市民センターにおいては、活動の支援や、ジュニアリーダーを指導者とした事業を行っている。



市民センター全体を通して、ジュニアリーダー一人ひとりが段階的に認定を受けながら、子ども会活動全般についての専門的な知識や技能を身に付け、自覚と責任を持って活動できるように支援し、さらに地域とのつながりの中で活動するジュニアリーダーを支援することによって、子ども会をはじめとする地域の活動を活性化している。

【ジュニアリーダーサークルの主な活動】

自主企画（ジュニアと遊ぼう、交流会など）、定例会及び連絡会、各種研修会
子ども会、市民センター、その他の機関からの要請による活動

- ・子ども会行事の実施及び企画の補助
- ・区民まつりへの参加
- ・市民センター事業への補助
- ・児童館行事のスタッフ など

○ジュニアリーダー初級研修会

新たにジュニアリーダーを志す中学生・高校生に対し、青少年のボランティア活動を通して、地域の子ども会活動の活性化を図るために必要な、基本的な知識と技術を習得する機会を提供した。

また、区内のジュニアリーダー相互と、新たにジュニアリーダーに加わる受講生との親睦を図り、今後の活動への意欲を高める。

主催館名	開催日	参加者
青葉区中央市民センター	7月6日(日)	37
宮城野区中央市民センター	8月3日(日)	25
若林区中央市民センター	12月14日(日)	15
太白区中央市民センター	6月28日(土)	20
泉区中央市民センター	11月30日(日)	41

○ジュニアリーダー中級研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

地域の子ども会の活性化と青少年のボランティア活動を積極的に推進するため、初級研修会を修了し、引き続きジュニアリーダーとして活動を行っている中学生及び高校生で、活動拠点となる市民センターの推薦を受けた者を対象に、より高度な知識と技術を習得するための研修を行う。

○8月9日(土)、10日(日) 参加者：68名

- ・研修1「ジュニアリーダーに必要なものとは？」
- ・研修2「要請の受け方」
- ・研修3「子どもを引き付けるコツ」
- ・研修4「要請のプログラムを作成しよう」
- ・研修5「要請のプログラムを実践しよう」

○ジュニアリーダー上級研修会

＜生涯学習支援センター＞（共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会）

青少年のボランティア活動と地域の子ども会活動の一層の振興を図るために、仙台市ジュニアリーダー全体をまとめ、リードする立場に立つべき高校生ジュニアリーダーの資質向上と技能の研鑽のための研修を行う。

中級研修会を修了し、引き続きジュニアリーダーとして活動を行っている高校生又は高校生の年齢に相当する者で、かつ活動実績・資質ともに上級リーダーとして適格であり、活動拠点となる市民センターの推薦を受けられる者を対象とする。

○7月12日(土)、13日(日) 参加者：21名

- ・研修1「リーダーとしての役割と心構え」「サークル運営のあり方」
- ・研修2「後輩へのコーチング」
- ・研修3「よりよい定例会の進め方」

※研修3では成果をDVDにまとめ、ジュニアリーダー活動拠点館に配付

【ジュニアリーダーサークル及び活動拠点館一覧】（平成 27 年 3 月現在）

区内連絡会	No	サークル名	登録数	活動拠点館名
青葉区（140 名） 連絡会 『星のすなどけい』 （青葉区中央市民センター）	1	MRVC くまっこ	38	広瀬市民センター
	2	かめ吉	15	福沢市民センター
	3	朝夷巣あかよぼく	5	北山市民センター
	4	Colors	10	旭ヶ丘市民センター
	5	SKY	34	中山市民センター
	6	みずの森ーダー' S	27	水の森市民センター
	7	Blue Leaf Spirits	11	青葉区中央市民センター
宮城野区（44 名） 連絡会 『Lovers』 （宮城野区中央市民センター）	1	高砂フレンズクラブ	10	高砂市民センター
	2	岩切ガンキリーズ	0	岩切市民センター
	3	鶴ヶ谷 Yourself	6	鶴ヶ谷市民センター
	4	幸町 Fortune	7	幸町市民センター
	5	With Us 宮城野	21	宮城野区中央市民センター
若林区（64 名） 連絡会 『田んぼっ区』 （若林区中央市民センター）	1	郷郷七郷	11	七郷市民センター
	2	六郷村	6	六郷市民センター
	3	ビ野沖ヲ	2	沖野市民センター
	4	JARO	25	若林区中央市民センター
	5	ワンマイル荒町	12	荒町市民センター
	6	若林にゃくりん	8	若林市民センター
太白区（49 名） 連絡会 『ANON』 （太白区中央市民センター）	1	なかだかな	13	中田市民センター
	2	おいでください	0	生出市民センター
	3	ジュニアリーダーサークル Green Powers	0	秋保市民センター
	4	にしたがつつまん	15	西多賀市民センター
	5	ながまっくる	21	太白区中央市民センター
泉区（175 名） 連絡会 『ざわざわ森』 （泉区中央市民センター）	1	黒松ファミリー	12	黒松市民センター
	2	南光台アドバルーン	7	南光台市民センター
	3	根白石カリヨン	42	根白石市民センター
	4	将監くれよん	11	桂市民センター
	5	向陽台ばびふぺパレット	0	松陵市民センター
	6	長命ヶ丘巣子っふ	10	南中山市民センター
	7	高森流星サークル	14	高森市民センター
	8	寺岡流星サークル	17	寺岡市民センター
	9	七北田 JL サークルありす	25	泉区中央市民センター
	10	みちのく松陵	16	松陵市民センター
	11	加茂プレゼント	13	加茂市民センター
	12	パズル鶴が丘	8	松森市民センター
市全体 （ 472 名 / 35 サークル ） 仙台市連絡会 『ずんだ』 （生涯学習支援センター）				

④ インリーダー研修会

子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会活動についての知識やレクリエーションなどの実技を学習するための研修会を実施した。

【平成 26 年度実績】

区	開催回数	延参加者
青葉区	10	482
宮城野区	9	426
若林区	6	358
太白区	10	532
泉区	29	1,302
合 計	64	3,100

⑤ 実習受入

○社会教育実習生

宮城教育大学、東北学院大学からの依頼を受け、各大学の社会教育主事資格取得を目指す学生を社会教育実習生として各区中央市民センターで受け入れ、公民館（市民センター）の概要や講座の企画立案・実践について指導した。

○児童・生徒の職場体験実習

小学生、中学生の職場体験実習を受け入れ、市民センター業務について学ぶ機会を提供した。

⑥ 学びを支えるボランティアフォーラム

<生涯学習支援センター>

「学びのまち・仙台」を支える基盤の充実をめざし、より多くの市民や団体が、学びの活動や学びを生かした活動に参画できるよう、市民や行政といった立場の違いを越えて理念の共有を図るとともに、ネットワークづくりを支援することを目的として実施した。

○日時：平成 26 年 10 月 11 日（土）

○会場：生涯学習支援センター 第 1 セミナー室

○対象：社会教育施設等で活動するボランティア、社会教育施設職員、社会教育施設での学びを支えるボランティア活動に興味や意欲のある市民

○参加者数：31 名

○内容：基調講演「市民力とボランティア活動」

【講師】 興 梶 寛 氏 （昭和女子大学グローバルビジネス学部特任教授
・コミュニティサービスラーニングセンター長）

・パネルディスカッション

「市民の学びを支えるために～ボランティアとして，職員として～」

【コーディネーター】 興梠 寛 氏

【パネリスト】 椎野 健作 氏 (仙台市博物館ボランティア「三の丸会」会長)

坂本 木綿 氏 (仙台市ジュニアリーダー連絡会「ずんだ」会長)

中谷 可奈 氏 (仙台市地底の森ミュージアム学芸員)

・情報交換とネットワークづくり

6 仙台市公民館運営審議会

社会教育法第29条、仙台市市民センター条例第13条に基づき、市民センターにおける各種の事業の企画実施につき調査審議を行う、本市が設置するすべての市民センターに共通の公民館運営審議会として設置している。

現委員は15人で、任期は平成25年11月1日から平成27年10月31日までの2年間となっている。

【委員名簿】〔平成27年8月1日現在〕

氏 名	勤務先・所属団体（役職名）
跡 部 薫	仙台市議会議員
伊 藤 誠	元仙台市市民センター館長
井 上 範 一	仙台市連合町内会長会理事
木下 る り 子	宮城県宮城野高等学校学校評議員
幾 世 橋 広 子	仙台市社会学級研究会顧問
小 岩 孝 子	NPO 法人 FOR YOU にこにこの家理事長
小 地 沢 将 之	仙台高等専門学校建築デザイン学科准教授
齋 藤 純 子	NPO 法人せんだい杜の子ども劇場代表理事
齊 藤 康 則	東北学院大学経済学部准教授
佐 藤 直 由	東北文化学園大学医療福祉学部教授
○ 佐 藤 憲 子	仙台市放課後子ども教室遠見塚 YOU-GO クラブコーディネーター
丹 治 重 廣	仙台市立将監小学校校長
中 山 聖 子	NPO 法人ハーベスト常務理事
◎ 梨 本 雄 太 郎	宮城教育大学大学院教育学研究科教授
森 忠 治	舞台芸術プロデューサー・ワークショップデザイナー

◎：会長 ○：副会長 敬称略・50音順

【近年の審議内容（平成14年度～平成25年度）】

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成15年 10月17日	提言	市民センターにおける子どもの事業のあり方について	1 子どもの事業に取り組む課題と視点 2 ジュニアリーダーの育成と活動支援 3 学社連携・融合事業について 4 学校週5日制に対応した事業について
平成17年 9月12日	提言	市民センターにおける市民参加と市民協働の推進について	1 市民企画委員のプログラムづくりについて 2 市民センター運営における市民の参加について 3 市民参加を広げる事業活動を目指して
平成19年 10月30日	答申	市民センターの施設理念と運営方針の見直しについて	1 見直しの背景 2 見直しにあたっての考え方 3 市民センターの施設理念と運営方針

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成 21 年 10 月 13 日	報告	審議の経過報告	1 今期審議会のテーマ設定と議論の経緯について 2 経過報告のまとめについて <これまでの審議内容(各委員の意見)の概要> 1 市民センターの区への移管について 2 連携事業の調査から見てきたもの <市民センターが大切にしてきた社会教育の価値とは> (梨本雄太郎委員) <区行政との「融合」をめぐる> (石井山竜平委員)
平成 22 年 3 月 16 日	意見	「次期行財政改革計画(素案)」に対する意見書	区役所への移管については課題や懸念があることから、それらを解決・解消した上で判断するべきと考える。
平成 22 年 8 月 31 日	提案	市民センターを拠点とした新しいまちづくりの提案ー仙台プランー	<市民センターを拠点とした新しいまちづくり> 1 意識を変える 2 人材発掘・育成とネットワーク化 3 市民の活動の場を生み出し支援する <新しいまちづくりに向けた市民センターの新たな一歩 / 今後の取り組み[提案] / 仙台プラン対応事業案> 1 住民参画・問題解決型学習事業 2 子ども参画型社会創造事業 3 学社連携・既存の事業範囲枠を超えた公共施設の連携事業
平成 23 年 1 月 25 日	意見	「市民センターを活かした地域づくりの推進」に関する意見書	1 検討の進め方について 2 組織見直しをめぐる課題について
平成 25 年 5 月 31 日	答申	仙台市市民センター事業の評価のあり方について	1 これまでの経緯 2 評価の現状と基本的な考え方 3 本審議会が実施する外部評価 4 本審議会以外が実施する外部評価 5 まとめ
平成 25 年 10 月 26 日	報告	平成 24 年度仙台市市民センター事業評価報告書	1 評価の目的 2 評価の実施 3 評価の結果 4 まとめ
平成 25 年 10 月 26 日	意見	仙台市市民センターの施設理念と運営方針の見直しに関する意見書	1 「仙台市市民センターの施設理念」について 2 「仙台市市民センター事業の運営方針」について 3 「仙台市市民センターの施設管理の運営方針」について 4 東日本大震災を踏まえた内容の見直しについて 5 その他

【平成26年度の審議経過】

開催日	会議種別	協議議題
5月27日(火)	定例会	審議： (1)平成25年度の仙台市市民センター事業の評価について (2)今期審議会の審議テーマについて
7月15日(火)	定例会	審議： (1)平成25年度の仙台市市民センター事業の評価について (2)震災を踏まえた今後の市民センター事業のあり方等について
8月26日(火)	定例会	審議： (1)震災を踏まえた今後の市民センター事業のあり方等について
11月18日(火)	定例会	審議： (1)震災を踏まえた今後の市民センター事業のあり方等について (2)平成26年度の仙台市市民センター事業の評価について
1月29日(火)	定例会	審議： (1)平成26年度の仙台市市民センター事業の評価について
3月24日(火)	定例会	審議： (1)平成26年度の仙台市市民センター事業の評価について (2)震災を踏まえた今後の市民センター事業のあり方等について 報告： (1)平成27年度の事業について

※1月23日(金)～24日(土) 事業見学及び関係者へのヒアリング